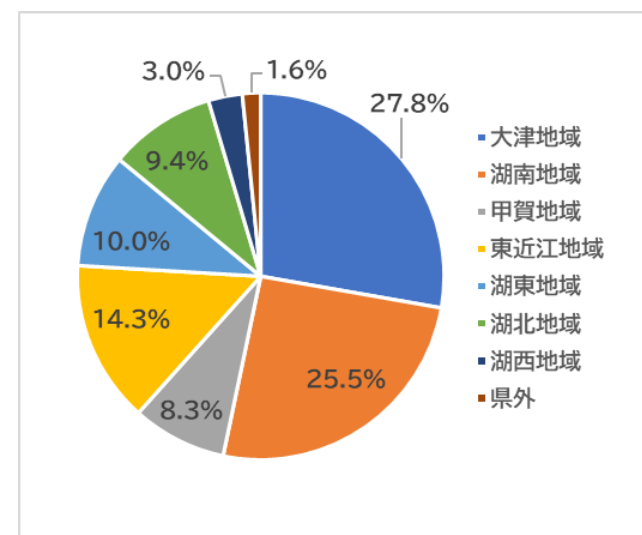


## “滋賀県職員の志(パーパス)” 県民共感度調査の結果について

- 趣 旨：“滋賀県職員の志(パーパス)”の3つの候補のうち、どれに共感いただけるか、また、共感するポイントを調査しました。
- 対 象 者： 県内・県外問わずすべての方
- 調査手法： ①LINE アンケート ※滋賀県公式 LINE アカウント友だち登録者(196,278人)あて配信  
②しがネット受付サービス ※県 HP 等でお知らせ、しらが登録者(24,558人)あて情報発信
- 調査期間： 令和6年1月19日(金)～21日(日)
- 回答者数： 3,732人 (①LINE アンケート:3,629人、②しがネット受付サービス:103人)
- 経 緯 等： 県では現在、滋賀県庁の存在意義(何のために、誰のために、滋賀県職員として働いているのか)を改めて議論し、それを表す言葉として「滋賀県職員の志(パーパス※)」を定めようとしているところ。本調査は、上記趣旨により、皆さんの意見をお聞きしたものです。  
  
※パーパスとは：一般的には「組織の存在意義」を指し、昨今、多くの民間企業では、関係者からの支持や従業員のやりがい向上などを目指して、定められています。
- そ の 他： 集計値(%)は、四捨五入しているため、総計と内訳の計が必ずしも一致しません。

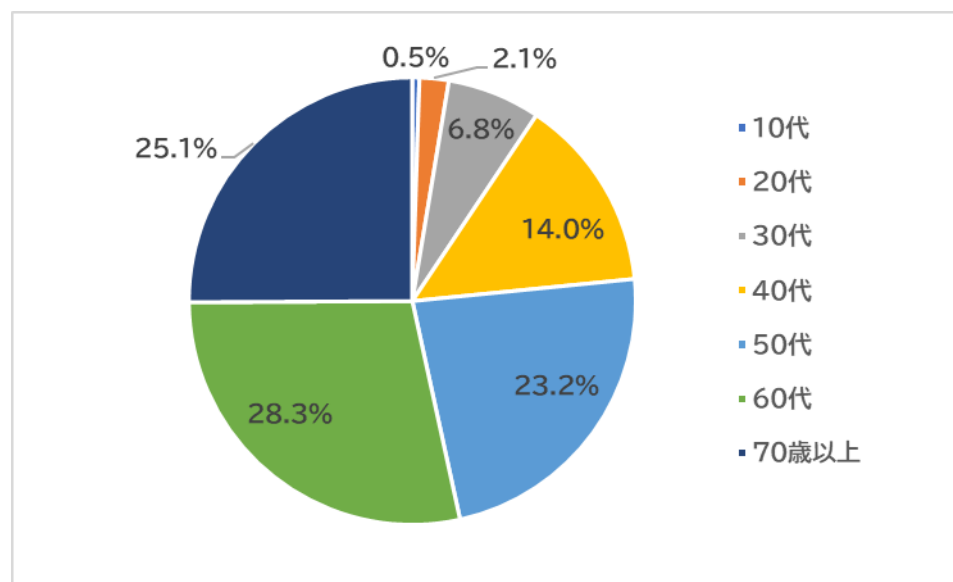
問1. お住まいの地域を選んでください。(回答チェックは1つだけ)

居住地域	人数	%
1. 大津地域(大津市)	1,036	27.8%
2. 湖南地域(草津市、守山市、栗東市、野洲市)	953	25.5%
3. 甲賀地域(甲賀市、湖南市)	311	8.3%
4. 東近江地域(近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町)	534	14.3%
5. 湖東地域(彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)	375	10.0%
6. 湖北地域(長浜市、米原市)	351	9.4%
7. 湖西地域(高島市)	112	3.0%
8. 県外	60	1.6%
総計	3,732	100.0%



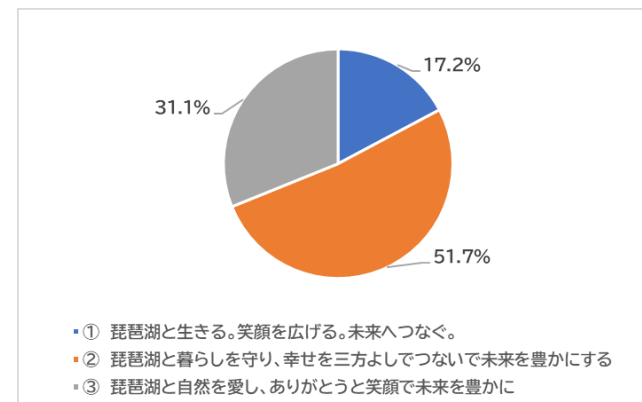
問2. あなたの年齢について教えてください。(回答チェックは1つだけ)

年代	人数	%
10代	19	0.5%
20代	79	2.1%
30代	252	6.8%
40代	524	14.0%
50代	864	23.2%
60代	1,058	28.3%
70歳以上	936	25.1%
総計	3,732	100.0%



問3. あなたが「滋賀県職員の志(パーパス)」として最も共感する候補を教えてください。(回答チェックは1つだけ)

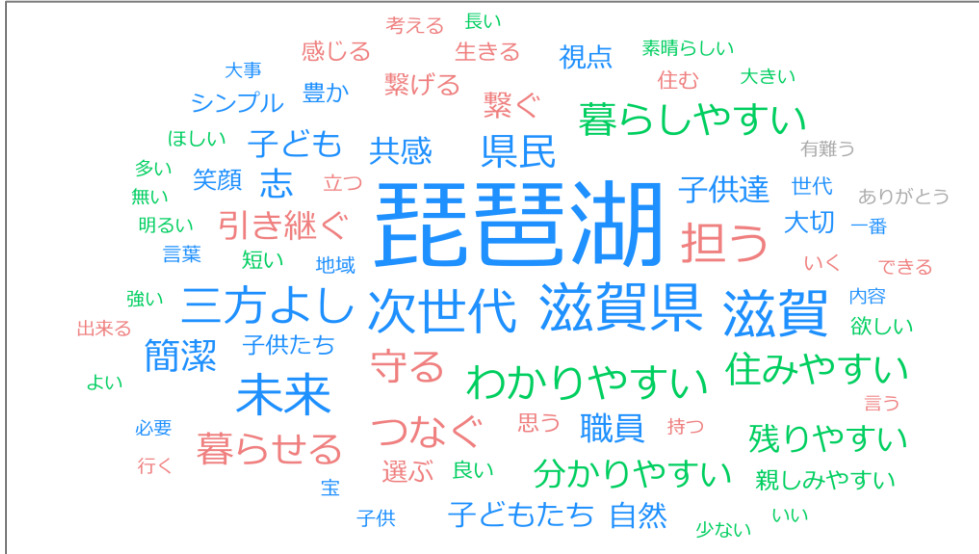
候補	人数	%
① 琵琶湖と生きる。笑顔を広げる。未来へつなぐ。	643	17.2%
② 琵琶湖と暮らしを守り、幸せを三方よしでつないで未来を豊かにする	1,928	51.7%
③ 琵琶湖と自然を愛し、ありがとうと笑顔で未来を豊かに	1,161	31.1%
総計	3,732	100.0%



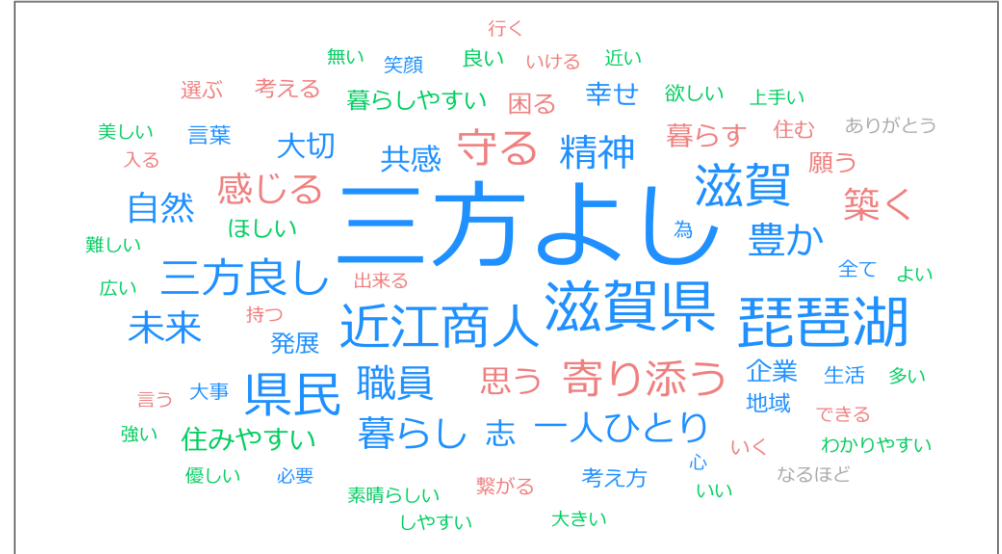
各「候補」とそれに込めた思い	調査から見えた主な共感のポイント
<p>① <u>琵琶湖と生きる。笑顔を広げる。未来へつなぐ。</u>                      滋賀の山、川、里、湖、そして海までのつながりや、歴史・文化も含めた暮らしの象徴である琵琶湖と共に生きる覚悟を持ち続けます。                      滋賀に関わるすべての方が、一人でも多く笑顔でいられる社会を築きます。                      今だけでなく、次世代を担う子どもの視点に立ち、未来へ引き継いでいきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「琵琶湖と生きる」の覚悟、責任感、強い意志</li> <li>○ 今だけでなく、子ども、次世代、未来を意識した視点</li> <li>○ 前進する力強さ、よりよい人生を送ろうという気概</li> <li>○ シンプル・端的、わかりやすい、リズムがよい 等々</li> </ul>
<p>② <u>琵琶湖と暮らしを守り、幸せを三方よしでつないで未来を豊かにする</u>                      滋賀の山、川、里、湖、そして海までのつながりを持つ琵琶湖と、その恵みを受けた滋賀の暮らしを守ります。                      三方よしの精神に立ち、県民、企業・団体や国・市町の皆様をつなぎ、困っている方に寄り添い、一人ひとりが幸せを感じられるよう豊かな滋賀の未来を築きます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 琵琶湖だけでなく、日々の生活・暮らしを守ること</li> <li>○ 近江商人の三方よしの精神を据えているところ</li> <li>○ 困っている方に寄り添い、誰一人取り残さないところ</li> <li>○ 具体的な表現であること 等々</li> </ul>
<p>③ <u>琵琶湖と自然を愛し、ありがとうと笑顔で未来を豊かに</u>                      滋賀の歴史・文化も含めた暮らしの象徴である琵琶湖と、山、川、里、そして海までつながる自然を愛する思いを持ち、支え、守ります。                      滋賀に関わるすべての方に感謝し、感謝されるよう、一人ひとりが笑顔でいられる社会を築き、滋賀の未来を豊かにします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 琵琶湖だけでなく、滋賀の自然への愛着や誇り</li> <li>○ ありがとうという言葉のわかりやすさや、人と人とのつながりが意識されること</li> <li>○ 表現の柔らかさ、温かみ、優しさ 等々</li> </ul>

■ ワード・クラウド分析 (大量の文章データを定量的・定性的に分析・可視化する手法の一つで、特徴的な単語の重要度を文字の大小で表したものです。)

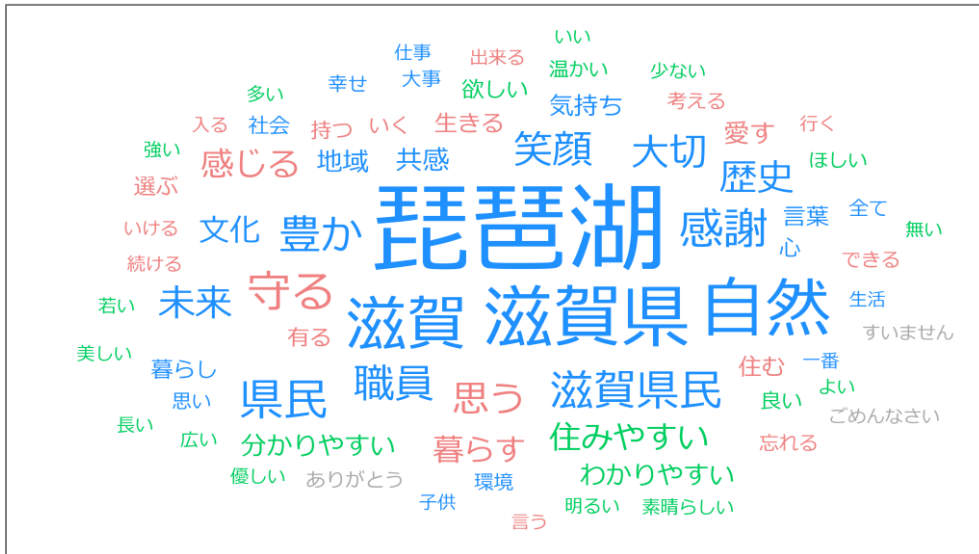
候補① 琵琶湖と生きる。笑顔を広げる。未来へつなぐ。



候補② 琵琶湖と暮らしを守り、幸せを三方よしでつないで未来を豊かにする



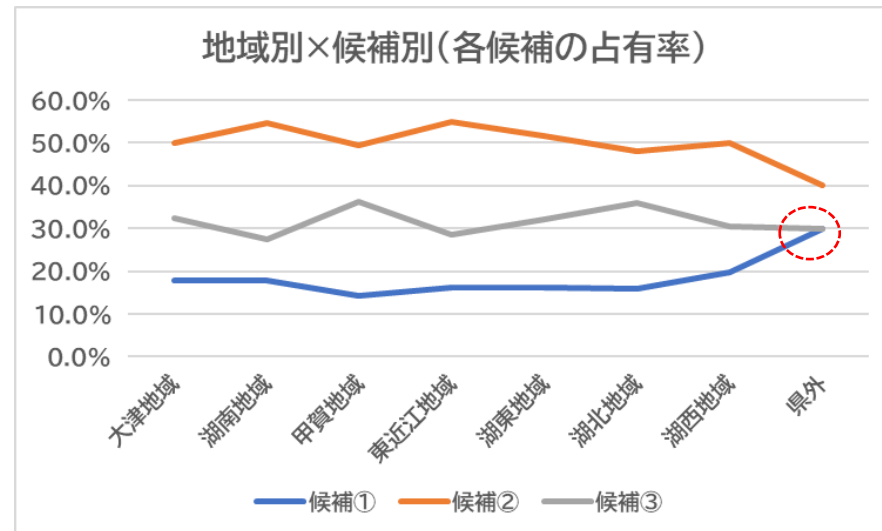
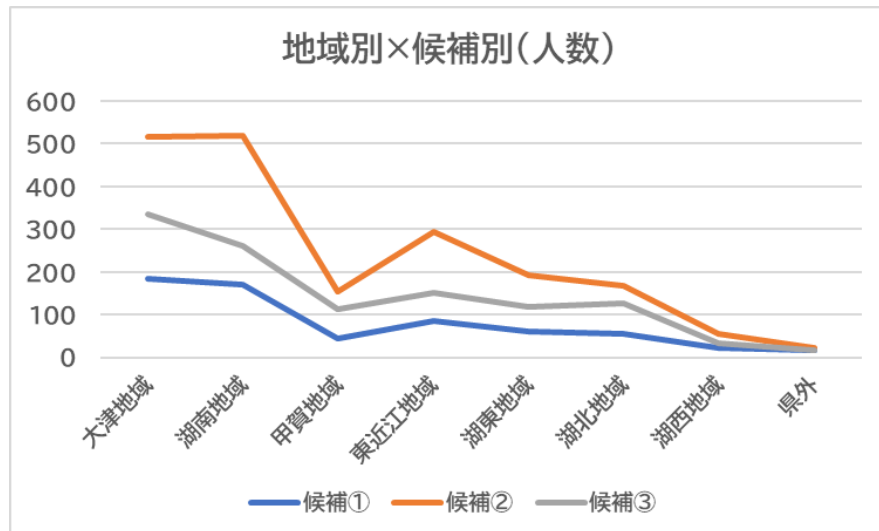
候補③ 琵琶湖と自然を愛し、ありがとうと笑顔で未来を豊かに



各候補に対する自由記述の文章データを分析し、特徴的な単語の重要度を文字の大小で表しています。  
 候補①では「琵琶湖、次世代、子ども、わかりやすい」等々、候補②では「三方よし、近江商人、寄り添う、暮らし・住む」等々、候補③では「琵琶湖・自然、感謝」等々が大きく表示されています。  
 なお、候補③では「ありがとう」への意見が一定数(54件/ex 滋賀県は78件)ありましたが、下記(注)により小さく表されています。

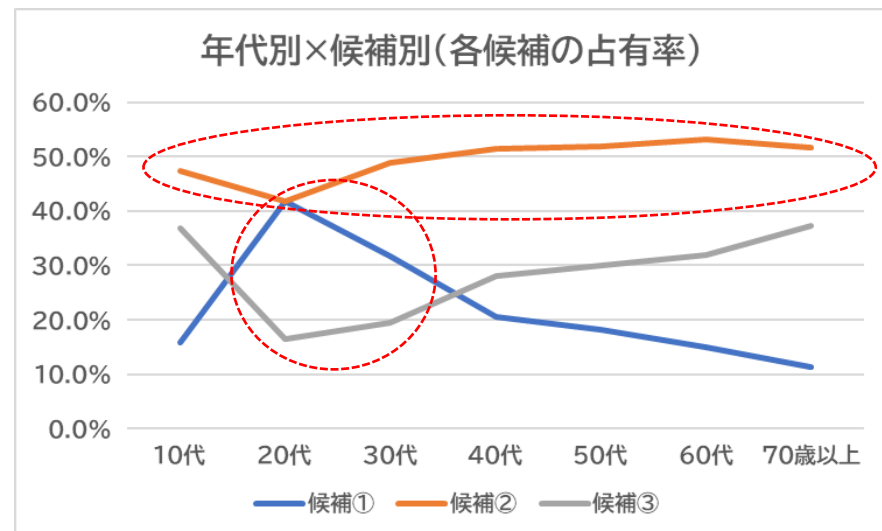
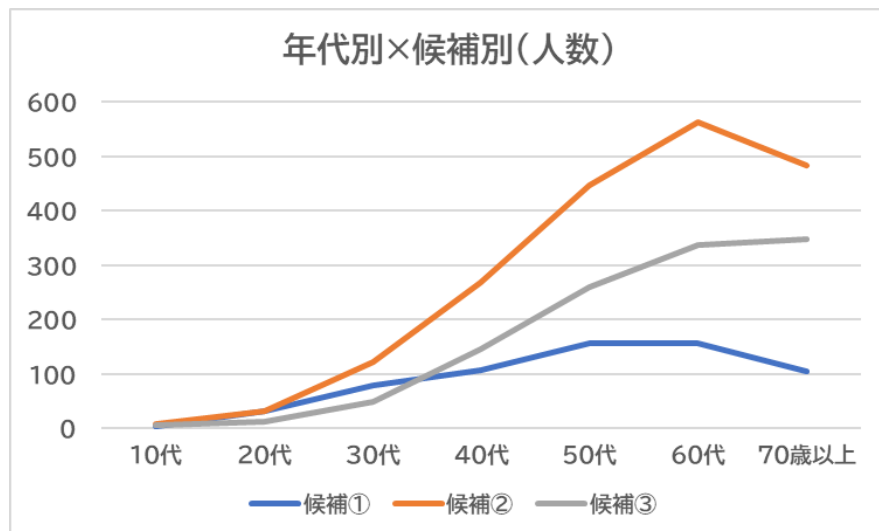
(注)本分析では、単なる頻出度の算出だけではなく、統計的な処理による特徴語の集計が行われています。従って、「一般的な文書でよく出る単語は、重要ではないため、重み付けを軽くする」一方、「一般的な文書ではあまり出現しないが、調査対象文書だけによく出現する単語は重視する」仕組みが取り入れられています。

## ■ 地域別×候補別 集計



○ 地域別の傾向に大きな違いは見受けられない。なお、母数は少ないが、県外の方には、県内に比べ候補①の共感は高い。

## ■ 年代別×候補別 集計



○ 多くの年代で候補②の割合が高いが、候補①の割合が20代では同率、30代では次に高くなっている。

#### 問4. 問3で選んだ理由その他、ご意見等ありましたら、お聞かせください。

回答者3,732人のうち、1,818人(48.7%)の方から意見をいただきました。滋賀県職員に対する県民の皆様からのご期待として受け止め、今後の県政運営に活かしていきます。

##### (1) 琵琶湖、自然

多くの方から、琵琶湖や自然に対する愛や尊敬、いかに大事なものであるかという思いとともに、それを守ること、未来・次世代へ引き継いでいくことについて意見をいただきました。また、琵琶湖を取り巻く自然や、滋賀県を越えた広がり(関西、海)を多くの方が意識されるとともに、暮らしや生活の中心に琵琶湖を意識することについて意見をいただきました。

- 琵琶湖を中心とした自然を大切に、自然やそこに住む生き物と共に生きていくという思いが伝わってきた。
- 子供孫達が安心して暮らしていけるように尊い琵琶湖山川自然を大事にしてほしいと願います。
- せっかく日本最大の湖があるので、それを大事にしたいし、未来へ繋げたい。
- 近い未来の中で琵琶湖愛を育む取り組みは大切だと感じる。かけがえのない子どもに寄り添って、滋賀県ならではの志を立案して欲しいと願う。
- 今現在生きている私達だけでなく、未来の子ども達のためにも琵琶湖の恵みを守りたい。
- 滋賀県には琵琶湖という財産があります。守りながら未来へ託していくのが使命だと思っています。
- 自然を守りつつ、活用した事業を進めてもらいたい。
- 琵琶湖という滋賀県にしかない存在を付加価値とする方向性に共感できた。
- 県民にとって大事な琵琶湖、関西圏の水瓶でもあるし、自然もいっぱい環境的にも良い所だと思います。今後も水を大事にし、自然も環境も当たり前と思わず、皆が誇れる滋賀に成ればと思います。
- 滋賀・琵琶湖・山・川は日々の生活は切り離し出来ない。一体化の活動が必要不可欠だ。
- 琵琶湖と滋賀は切り離しては生活していけないし、琵琶湖を守りまた、琵琶湖を囲む生活するわれわれの未来、企業の発展などは全て繋がっている。どんな震災が来るかもわからない昨今、近隣との繋がりも大切だと思う。その中心となるのは県政がしっかりしていただかないと、いざという時動けない。個人も企業も地域と共に繋がっていきたい。県職員の方々の力を期待しています。

一方で、どの候補にも「琵琶湖」という言葉があり、琵琶湖しかないのかとの意見もありました。

- 滋賀県は琵琶湖だけが特徴ではないので、琵琶湖に面していない市町の方にも共感してもらいやすい文章が良い。
- いずれにも琵琶湖が入っているが、ことさら強調する必要がない。

## (2) 暮らし

琵琶湖・自然だけでなく人の暮らしも大切であること、暮らしを守ることが最優先であること、また、地震などの自然災害や物価高などの生活苦から暮らしを守ることなどご意見をいただきました。

- 琵琶湖と人々の暮らしを守り、互いが助け合いみんなが幸せに暮らせることこそ大切です。
- 自然も人も共に尊重し合い生活をしていくことが大切だと思います。
- 自然や人を守るのは勿論のこと、持続可能な経済の発展、住みやすく県外の人々が何度でも訪れたい街づくりを目指して欲しいと節に願います。
- 能登半島地震発生で自然災害は日本のどこにでも有り得ることと改めて感じました。そんな中でもこのテーマは未来につなげる志だと思います。
- どれも共感できるが暮らしが豊かでない余裕がなく他の事に目が向かないと思う。
- 暮らしを守るという言葉に、今当たり前の暮らしがままならない世の中を変えるという具体的な姿勢を感じた。
- コロナの時も生活を守っていただいていたので、守るというワードが入っていたので(候補②を)選ばせていただいた。
- 滋賀の暮らしを守るという所に共感した。
- まずは暮らしを優先に。
- 日々の生活、暮しが大事だと思い(候補②を)選択しました。
- 県民の生活安定のための仕事をお願いいたします。
- 滋賀県民であれば、琵琶湖の恩恵を受けずに生活することはありえない。故に、琵琶湖を愛する心は前提としてあるものと考えます。職員は暮らしを守り、次世代に繋ぐ志を持って頂きたいです。
- 滋賀県に住んで良かった！と思える県政で有って欲しい。
- 色々な方が滋賀県に住みたい！住み続けたい！って言ってもらいたいので②番を選びました！
- 職員の志は県民、市民の暮らしを守るです。
- 心身共に健康で心豊かに暮らせるのが一番だと思う。職員様方にも志をもって滋賀県を守り住みやすい県である為のご尽力をお願いしたいと思います。

## (3) 未来・子ども

いずれの候補にも「未来」という言葉を入れていますが、多くの方から、安心できる暮らしなどを「子ども」や「次世代」へ引き継ぐことについて意見をいただきました。また、20～30年といった長期的な視点、または子ども・次世代の視点に立ってものを考えてほしいとの意見をいただきました。

- やはり県職員として、未来ある子どもたちに何をすればいいのかを忘れてはならない。
- 「次世代を担う子どもの視点に立ち、未来へ引き継いでいきます。」の一文につきます。共に頑張りましょう。

- これからの子供達が安心して暮らせる事が願いです。
- 今の子供たちが大きくなって、逃げ出したくなるような県にしてほしくない。
- 今後滋賀県にとって最も大切なことは子どもが安心して暮らしていけるようにすることだと思います。
- 子供は滋賀の宝、そして日本の宝、子供達こそが将来の滋賀を作ると思う。子供や孫の世代に良い滋賀を残したい。
- 次世代に繋ぐという文言に強く賛同します。
- 人は必ず死にます。大人としてできることは、自分のことよりも、残されたもの、後に残るモノへの思いやりだと思います。自分の子どもだけでなく、すべての子どもたちへ。子どもたちが大きくなった時に生きやすい社会を残すことが大切だと思います。
- 未来の滋賀の為に今の子供たちを大切に、安心できる生活と環境づくりをお願いします。
- 未来を担う子どもたちのために滋賀県を住みやすい暮らしやすくしていただきたい。そして高齢者にとっても住みやすい所であってほしい。
- 未来を豊かになってところに共感を持つことが出来ました。明るい未来のために頑張ってください。
- 子どもが大きくなったときに、滋賀に住みたいと思えるようになってほしい。未来のことを考えて欲しい。
- 子どもを大切に作る施策をすることで、親である働きざかりの世代が暮らしやすく、それが今と未来の地域を守ることになると思う。

#### (4) 困っている方に寄り添う

多くの方から、能登半島地震をはじめ昨今の状況も踏まえ、「困っている方に寄り添う」ことが大事であるとの共感・賛同のご意見をいただきました。

- 困っている人に寄り添い、一人ひとりが幸せを感じられる。という部分が、今の社会に必要なと思う。
- 生活に困難な方々が増えて来ているので、皆で支え合い寄り添う気持ちが最重要だと思う。
- 困っている方に寄り添う事が今の誰も置き去りにしないという考え方に合うと理解しました。
- 施策の狭間で取りこぼされる人がないようお願いします。
- 感謝、公平、関与、県民に寄り添える県職員であってほしいです。
- 県職員であるということを常に思い県民に寄り添った仕事を努めてほしい。
- 県職員は県民のすべてを担っての仕事だと思うので しっかり取り残しなく周りを見て職を全うしてほしいと思う。
- 困っている人に寄り添える滋賀県職員であってほしいと思います。
- 誰一人取り残さずに幸せを届ける行政が求められており、その為に行政マンは何か出来るのかを真剣に考えて、事業を企画、計画、執行された後、その事業効果が想定以上であったのかどうか常に真摯に振り返られる職員であって欲しいと心から願っています。
- 能登半島地震で、今なお多くの方が被災され大変苦勞されている現状を目の当たりにし、『困っている方に寄り添い、一人ひとりが幸せを感じられるよう豊かな滋賀の未来を築く。』ことが大切だと感じた。



## (5) 幸せ、笑顔

多くの方が、一人ひとりが幸せを感じられること、子どもから高齢者までみんなが幸せを感じられることに共感を持たれ、また笑顔でいられることが大事といったご意見をいただきました。また、滋賀県職員自身が、笑顔で幸せであることも大事とのご意見もいただきました。

- 近江商人の三方よしの精神に立って一人ひとりが幸せを感じられるよう豊かな滋賀の未来を築くことを志してほしい。
- 働いている職員の方々も滋賀で働けて良かったと思って貰えないと県民も幸せを感じられない気がして、そして滋賀県が頼りになる県でいくれる様に心から願って止みません。
- 幸せを感じる心は人それぞれだと思います。若い人お年寄りみんなが少しでも幸せと感じられる滋賀県であればと思います。
- どちらかだけがいい思いをするのではなく、みんなが幸せを感じられるような、そんな滋賀県になってほしいと思います。
- 滋賀県民のみならず縁ある人達にも幸せと希望を持てることを願います。
- 県民や企業、県職員などすべての住民がこの町に暮らせて幸せだと感じられることが笑顔につながると思う。
- 困難があっても、この場所を離れたくないという助け合う気持ちが人を幸せにする。豊かな志しこそが、県民が希望する事ではないかと考える。
- なんとと言っても笑顔がない社会に未来はないと思います。
- 滋賀県民の誰もが笑顔で生活出来るようにしてほしいです。
- 笑顔と言う言葉で選びました。笑顔は、赤ちゃんから、年配まで、心を和ます意味でもあるので。
- 琵琶湖は、日本の宝、笑顔は、人びとを結ぶ宝
- 自分だけではなく皆が笑顔になれる滋賀でありたいと思う。美しく丁寧にしなやかな職員でいて下さい。
- 公務員の仕事は県民の要望や考え方が多岐にわたることから、量も多く、質も難しいと思う。職員さんには問題に突き当たっても、常に笑顔で仕事を進めてほしい。暗い職場では、仕事に対する気持ちも沈むし、県民に対しても明るい態度で対応してほしい。
- 滋賀県をつくる原動力は県庁の職員。職員が感謝と笑顔をもって日々の仕事に、人に接するならその輪は必ずや県民の心に届き、滋賀県をさらに発展する明るい自治体にする事ができる。
- 滋賀県の職員さん達も忙しいですし、その一人一人には、家族もありますので、笑顔で、幸せに仕事をして欲しいです。

## (6) ありがとう、感謝

「ありがとう」が持つ響き、わかりやすさ、または温かさといった言葉の良さのほか、感謝の気持ちを持ち続けることが笑顔や幸せにつながるなどのご意見をいただきました。また、ありがとうや感謝は、日常の具体的なアクションであり、全ての始まりとの意見、さらに人は人とのつながりの中で生きるがため感謝の気持ちが大事であるとの意見をいただきました。

- ”ありがとうと笑顔で”との言葉の響きが良い。
- 感謝の気持ちとありがとうという言葉は、子供でも大人でも外国の人でも伝わると思うから。

- ありがとうと感謝の心を忘れずに接することで将来まで心が優しく育っていけると感じました。
- ありがとうの一言が言えないできない時代になりつつあるのではないかと日々思っております。些細な事でも感謝の気持ちを1番に持ち、ありがとうの一言があるだけで、笑顔が生まれてくると思う。
- いつでも何にでも、感謝の気持ちが大切です。そこから未来に繋げる。「感謝」の言葉がいいです。
- 笑顔、感謝という優しさが、穏やかな日常を支えると思います。
- 感謝の気持ちが、人のことを動かす一番大切なことだと思います。感謝の気持ちは、人に通じるものです。頑張ってください。
- ありがとうは、すべての始まりだから。
- (候補③には)ありがとうと、具体のアクションがあるのがいいです。
- 感謝のことばが入っていることで、常に目にして、それが行動につながると思ったから。
- 感謝の気持ちを持つことから全てが始まると思っています。大人一人ひとりが、いつもありがとうの気持ちを持つことが、未来の子供達への何よりも大事な教育ではないでしょうか。殺伐とした今の時代に育っている子供達に、人の心を温めるありがとうの気持を知ってもらいたいと思います。
- どんな小さな仕事でも、それがなければ社会は回っていかない事が多いと思います。今の生活があるのはそういう方々のおかげだと、日々立ち止まって感謝できるようでありたいと思っています。
- 感謝し感謝されるような安心できるコミュニティがある土地に、人は集まると思いました。
- 感謝する気持ちを持つことは、思いやりの心助け合いの心を築いていきます。何事も当たり前でなく一人一人の心が繋がってこそ笑顔が広がります。
- 人は一人で生きられない、周りのサポート、支えがあるから生きられる。数少ないかも知れないが周りが見てくれている。そんな方のためにありがとうの一言を持って生きていきたい。
- 人と人の繋がりを大事にするには感謝の気持ちをしっかり伝えないといけないので(候補③を)選びました。
- 仕事ができる事に感謝し、感謝される、大事だと思います。

## (7) 三方よし(の精神)

「三方よし(の精神)」について、琵琶湖とともに滋賀らしい／言葉自体が好き／日本・世界に誇るべき思想／古くからの近江商人の心・教え・哲学で引き継ぐべきもの等々、様々な観点で多くの方から意見をいただきました。

- 「三方よし」というように具体的なスタンスが前面に掲げられる方が努力する焦点が分かりやすく、迷った時の判断の拠り所になると思う。
- 「三方」が経営目線ではなくあくまでも「三方よしの精神」ということに共鳴しました。
- 三方よしの三方は色々な立場で変わると思う。それが良しであれば皆が感謝し合い優しい社会、また滋賀県らしい暮らしを築けるかと思えます。
- 『三方よし』は日本、世界に誇るべき思想だと思う。

- 三方よしの考え方こそ、滋賀県として誇りであり、日本に留まらず、世界に発信し、全ての人が豊かで幸福であるよう、そのモデルであって欲しいと願う。
- 新卒で入った会社は東京本社の会社でしたが、研修で「三方よし」を学び滋賀県出身として誇らしかったです。
- 近江商人の営業力は、現在でも通用すると思う。職員に全てを委ねるといふより県民側も何をすべきかを指示していく方向性を強めて頂きたいです。
- 近江商人の教えは合理的かつ持続性にも繋がると思うから。
- 近江商人の三方よしの精神は今やこれからの滋賀県、日本の進むべき道だと思います。
- 現代の行政方針にも十分当てはまる。その近江商人を先祖に持つ滋賀県こそ、県内だけでなく日本を未来に繋いでいけるのではないのでしょうか。
- 「三方よし」の精神は現代にも通じるものであり、市町をまたがり県全域に広がる琵琶湖や山々を包括的に管理保全する役割を果たすのは県職員しかいないと思います。
- win-winではなく、三方よしの精神は未来に繋がると思う。
- 三方よしということばを世界に届け続けたいです。他県から越してきてこの言葉が大好きになりました。
- 誰一人、損をしたり、悲しみがでるようなことはなく、皆が共存して共に幸せになることを目指すことは、持続可能な社会の実現といった、世界的な風潮にもマッチしていると思います。
- 三方よしの本質意義を十分に理解して職責を遂行してもらいたい。

一方で、三方が何を指すのか分からない、企業向けではないか、三方よしを知らない人もいるのではないかといった意見もいただきました。

- 三方よしの、三方が何であるか、すぐにはよく分からない。
- 企業がいうからいいのであって、地方自治体がいうのは当然というか当たり前のように思います。何でも三方よしにつなげてて、縛られすぎているのでは。